

【小学校・中学校・義務教育学校用】
令和2年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名 唐津市立成和小学校

1 前年度 評価結果の概要
・校内研究を中心に道徳教育に取り組んできたことで、児童の自己肯定感を高め、心の教育の推進を図ることができた。
・不登校傾向の児童は、増加傾向にあり、校内の支援体制の充実と関係機関との連携を推進していく。

2 学校教育目標 「HEART」、 「POWER」、 「CHALLENGE」 —あたたかく 力強く 目標にチャレンジする子どもの育成— 【心をひとつに「チーム成和」】

3 本年度の重点目標
①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の工夫・授業改善に取り組む。
②不登校を生まない学校づくりに取り組む。
③いじめ防止と早期発見・早期対応に向けた体制づくりに取り組む。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	○課題解決に向け、複数意見からまとめるような話し合い活動の場を仕組む。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳授業の充実に向け、道徳意識調査で、児童の自尊感情についての肯定的評価を80%以上に上げる。	○担任間で、教材の選定や指導の流れ等、道徳授業の事前打ち合わせを行う。 ○各授業の指導過程に「交流（対話）」活動を取り入れる。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学早期発見・早期対応を行い、児童のいじめを0にする。	○毎月、心のアンケートをとり、実態把握を行う。 ○些細なことでも、校長、教頭、生活指導担当、養護教諭などでチームを作り、学校として解決に当たる。							
	○不登校を生まない学校づくり	○児童を主体とした魅力ある集会活動に取り組み、学校の一員として、集会活動に取り組むことができた回答した児童が70%以上	○児童が主体的に取り組むことができるような集会（行事）を、学期に1回実施。 ○集会に向けて、児童が意欲的に参加することができるような話し合いの場の設定。 ○集会に関する振り返りアンケートの実施。							
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上	○外遊びの奨励と環境作り(晴れの日を外遊び、毎月1日ノーメディアデーの取り組みの確認をして意識付けをする) ○持久走大会、縄跳び大会に向け、昼休みに練習時間を確保し、取り組ませる。 ○体育委員会を中心に昼休みを使って、スポーツチャレンジの取り組みを行い、体力向上に努める。							
	②「望ましい生活習慣の形成」	②衛生検査の実施(各項目90%以上の達成目標)	○毎朝、衛生面についてのチェックを欠かさず行い、健康についての意識付けを行う。							
	③「安全に関する資質・能力の育成」	③児童生徒の交通事故・犯罪被害を0(ゼロ)にする	○地域の方と協力しながら、朝の交通指導を行う。 ○年に1回、交通安全指導・自転車の乗り方の指導を行う。 ○低学年では毎日、集団下校を行い、地区児童会では、全校による集団下校を行う。 ○安全集会を行い、命の大切さや防犯意識を高める。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を(45時間)遵守する。 ○教育課程のスリム化と業務の精選・簡素化を図る。(前年度比10パーセント減)	○教育課程や行事などの提案において、業務量が前年度比10パーセント減となるように提案する。 ○定時退勤日の設定し徹底する。 ○職員各自が、毎月の時間外勤務集計記録を確認しながら、時間外勤務の上限を(45時間)超えないように勤務時間の調整に取り組む。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎志を高める教育	○自らの夢や目標の実現に向けて努力す態度を育む。	○学校教育目標『ハート』『パワー』『チャレンジ』の児童の認知の割合を95%以上に上げる。	○様々な教育活動における指導現場で、『ハート』『パワー』『チャレンジ』と関連付けた支援・指導を行う。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望